

タイトル

ケータイから言葉を拾って俳句する「HITCH HAIKU」

Hitch Haiku Mobile Phone System (Haiku Generator)

概要

本研究は、日本文化の型をコンピュータでモデリングして日本文化の構造に触れる「カルチュラルコンピューティング研究」がテーマです。俳句は、5・7・5の音数による言葉の韻律から構成される世界最短で日本古来の詩です。その中には新年、春、夏、秋、冬のいずれかの季節を表す「季語」と「や」「かな」「けり」などのフレーズを接続する「切れ字」が含まれています。素晴らしい景色を見て記憶に留めてたい時、俳句を詠むようにスナップできたらいいですね。そこで「Hitch Haiku」では、ケータイから言葉をHitch（つかんで）して、連想されうる歳時記の言葉から俳句を作り、季語に合った和の色で表示する俳句創作支援システムを構築しました。（連句も可能です）

URL <http://www.tosa.media.kyoto-u.ac.jp/HitchHaiku/RenkuLogin.html>

産業界への展開例・適用分野

日本文化をメディア化してグローバル社会にアピール。 SNSやブログなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスが連句システムに。 俳句連想検索から画像・映像連想検索へ

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職（学年）
展示担当者	正善 照啓	学術情報メディアセンター	土佐研究室	研究員
	宮崎光二	学術情報メディアセンター	土佐研究室	研究員
	土佐尚子	学術情報メディアセンター	土佐研究室	教授